

秋のバードウォッチング 2024.11.03 (日) 実施



講師の森岡真功さん



はじめの会の様子



観察会の様子 (〇)



観察会の様子 (夢崎)



観察会の様子 (牧崎)



観察会の様子 (角島大橋から鍋島)

11月3日(日)、雨天のため1日順延になった「秋のバードウォッチング」を豊北町自然観察指導委員会の森岡真功さんを講師に、実施しました。

角島は県内有数のバードウォッチングの島で四季を通じて渡りくる野鳥の数は200種類を上回ります。当日は、下関海峡マラソンの日と重なってか、いつもの連休より観光客も少なく、前日までの雨模様の天候も回復し、森林や農耕地、牧草地、砂浜、岩場などの島の自然豊かな環境の中を散策しました。今回の2組の参加者は各地でバードウォッチングをされている方々で、各ポイントを鳥たちについて語りながら回る中で、ハイタカやジョウビタキなど26種類の鳥たちに出会いました。

クジラ博士の出張授業 2024.12.2 (月) 実施



講師の杉本太郎さん (日本鯨類研究所)



授業の様子

実寸大の幕を広げた様子

12月2日(月)、下関市立豊北小学校の6年生を対象に、日本鯨類研究所の杉本太郎研究員の「クジラ博士の出張授業」が実施されました。

授業では、「クジラのはなし〜クジラはどんな生きもの?〜」と題し、クジラの特徴や日本が行っている鯨類科学調査について、説明されました。「クジラの分け方」で、「ヒゲ鯨と歯鯨」の2グループに分けられることを子どもたちが即答していたところが、5年の遠足で自然館に来て、館長の説明を覚えていたところに感じました。

その後、体育館に移動し、25mもあるシロナガスクジラの実寸大の幕を広げて、自分たちの身長と比べてクジラの手や足、耳などの位置を確認したりすることができました。子どもの感想に、「今日クジラの授業を通して、前よりも深くクジラのことを知れました。あまりクジラのことを知らなかったので、ひげなどのことを知れてよかったです。」とありました。卒業を前に思い出に残る授業となったようです。